

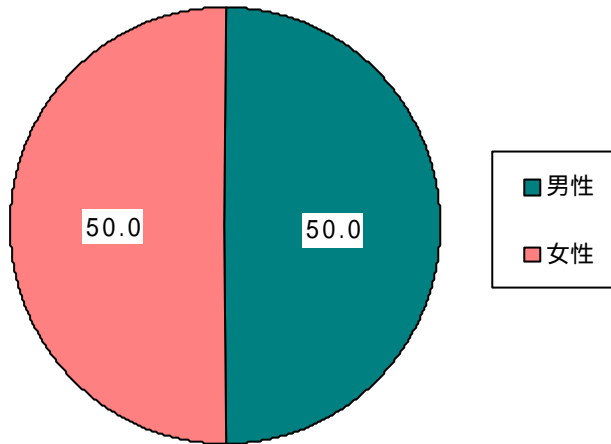
# 通信教育に関する インターネット調査

2001年11月実施

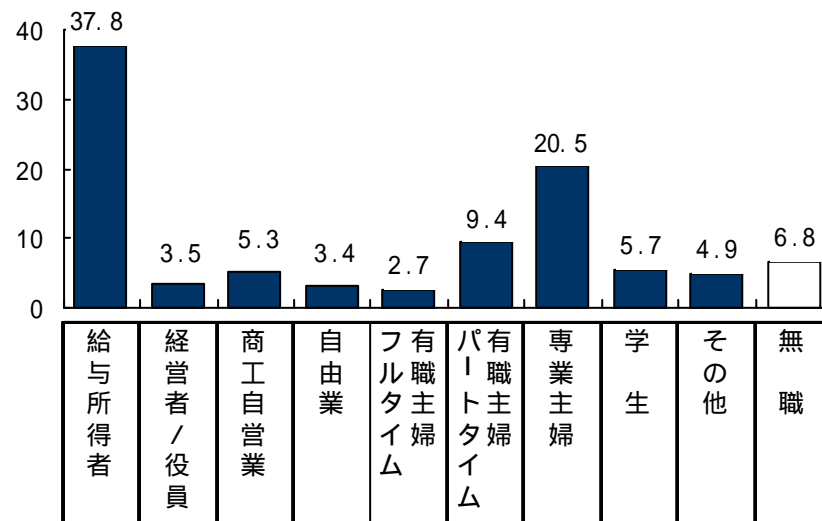
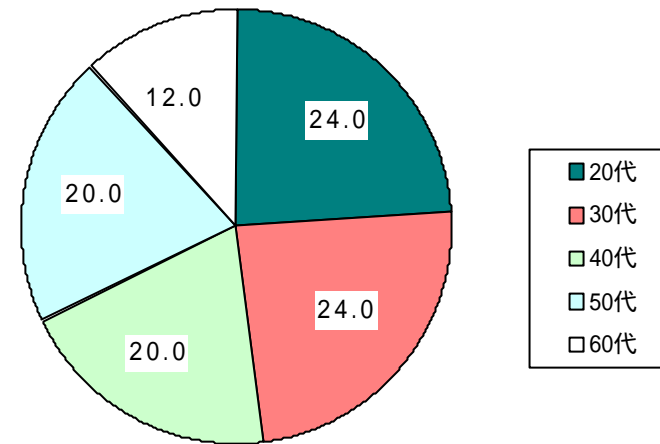


# 調査概要

性別



年齢別



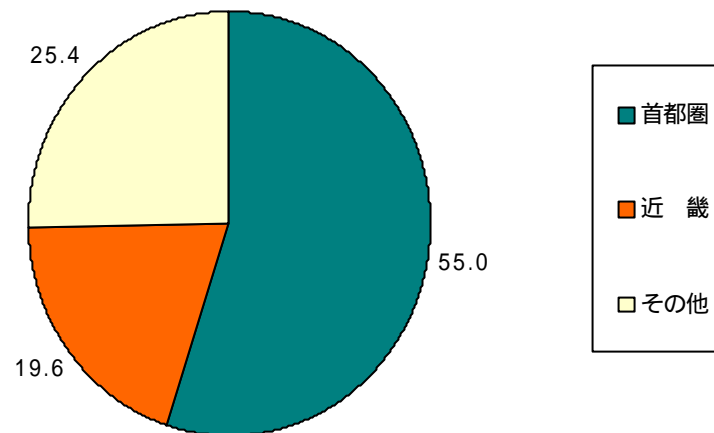
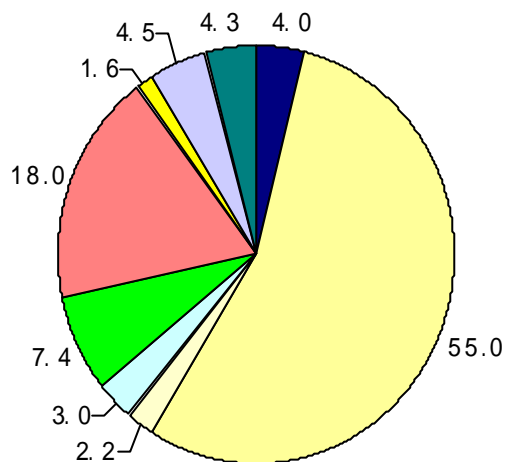
職業別

		N	給与所得者	経営者/役員	商工自営業	自由業	フルタイム有職主婦	パートタイム有職主婦	専業主婦	学生	その他	無職
全体		1000	37.8	3.5	5.3	3.4	2.7	9.4	20.5	5.7	4.9	6.8
性別	男性	500	58.8	5.6	8.6	3.8	-	-	-	8.4	5.2	9.6
	女性	500	16.8	1.4	2.0	3.0	5.4	18.8	41.0	3.0	4.6	4.0
年齢別	20代	240	38.8	2.9	0.8	4.6	3.3	4.2	8.3	23.3	8.3	5.4
	30代	240	48.8	2.1	6.3	1.7	1.7	7.9	28.8	-	2.1	0.8
	40代	200	43.5	3.0	6.0	2.0	4.5	15.5	19.0	-	3.5	3.0
	50代	200	36.5	5.0	8.5	3.5	2.5	15.0	20.0	0.5	4.5	4.0
	60代	120	6.7	5.8	5.8	6.7	0.8	3.3	31.7	-	6.7	32.5
地域別	首都圏	550	36.2	4.9	4.4	4.0	2.4	10.6	19.8	7.3	3.6	6.9
	近畿圏	196	41.8	2.0	4.1	2.6	3.1	8.2	21.9	6.1	4.6	5.6
	その他	254	38.2	1.6	8.3	2.8	3.2	7.9	20.9	2.0	7.9	7.5

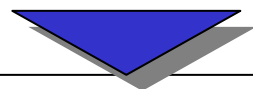
# 調査概要

地域別

- 北海道・東北
- 首都圏
- その他関東
- 信越・北陸
- 東海
- 近畿
- その他近畿
- 中国・四国
- 九州・沖縄



	合計	FS 1 . 性別		FS 2 . 年齢					FS 3 . 職業												
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	学生	経/役員	給与所得者	商工自営業	農業	漁業	自由業	フルタイム主婦	パート主婦	専業主婦	その他	無職	
全体	1000	50.0	50.0	24.0	24.0	20.0	20.0	12.0	5.7	3.5	37.8	5.3	0.2	-	3.4	2.7	9.4	20.5	4.7	6.8	
地域別	首都圏	550	50.0	50.0	23.6	23.6	20.0	20.0	12.7	7.3	4.9	36.2	4.4	-	-	4.0	2.4	10.6	19.8	3.6	6.9
	近畿圏	196	51.5	48.5	24.0	24.0	20.4	20.9	10.7	6.1	2.0	41.8	4.1	0.5	-	2.6	3.1	8.2	21.9	4.1	5.6
	その他	254	48.8	51.2	24.8	24.8	19.7	19.3	11.4	2.0	1.6	38.2	8.3	0.4	-	2.8	3.2	7.9	20.9	7.5	7.5



通信教育に対する意識・実態に「地域差があるのかないのか」を検証するために、地域別の集計を行うに際して、上記の通りエリアの統合を行った。統合された3地区を軸に、各属性とのクロスを取り、地域特性の比較を行った結果、特に極端な傾向さは現れなかったため、この3地域はほぼ等質のエリア特性を持つと判断できる。

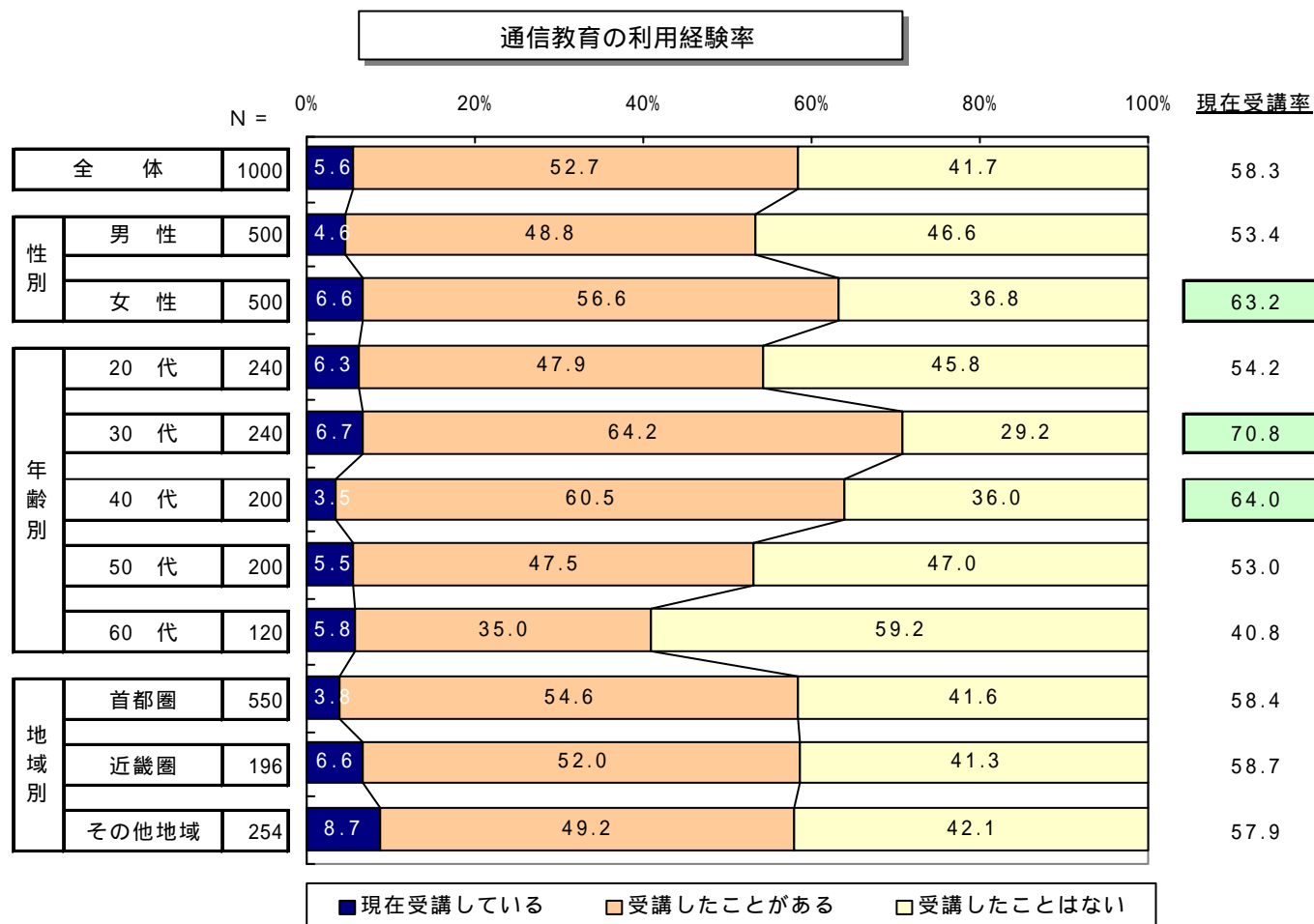
# 調查結果

# 通信教育の利用経験率は、58%

今までの『通信教育の受講経験』を問うた結果が以下のグラフである。

対象者<全体>で見ると、「現在受講中」が6%、今までに「受講したことがある」者が53%となっており、併せて58%と約6割が受講経験を持っている。「今までに」と尋ねているので、この数値には、学生時代の通信教育受講経験も含まれる点は留意する必要がある。

属性別に見ると、<男性>よりは<女性>、《年齢別》では<30代><40代>に受講経験を持つ者が多い。



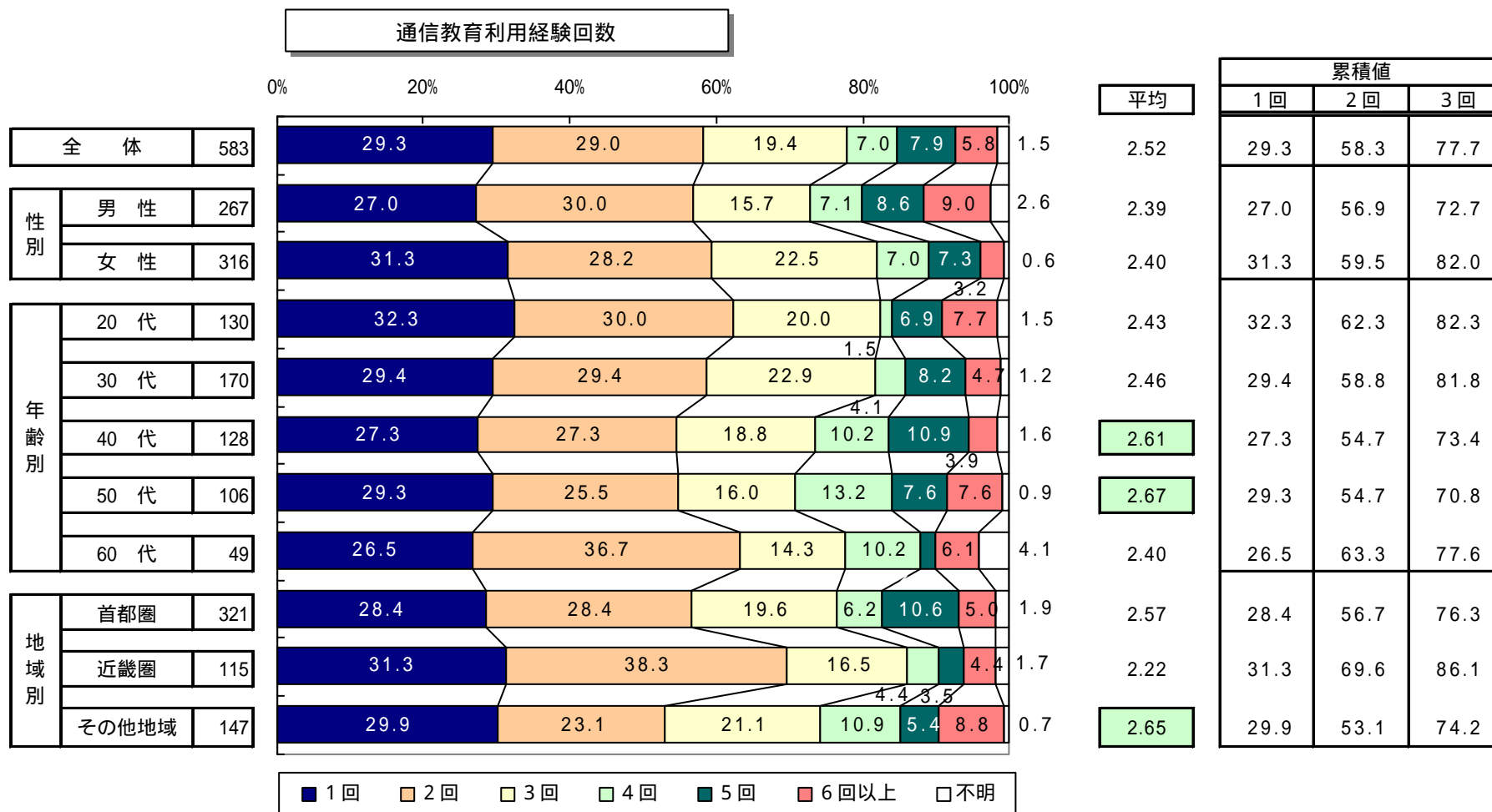
# 通信教育の利用経験回数の平均は 2.52回。

受講経験者の『利用経験回数』を尋ねた結果が以下のグラフである。

<全体>では、「1回」が約3割(29%)、「2回」が同様に3割、併せて6割が「2回」程度。「3回」を加えると8割近くに達する。平均で見ると「2.52」回となっている。

属性別では、<40代><50代>での「平均受講回数」が他を若干上回っている。

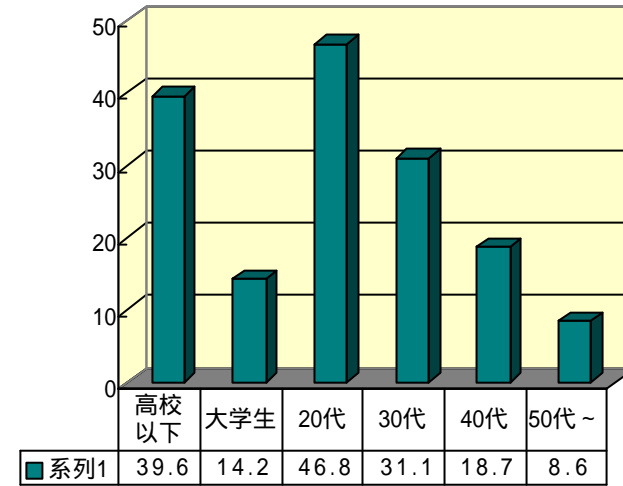
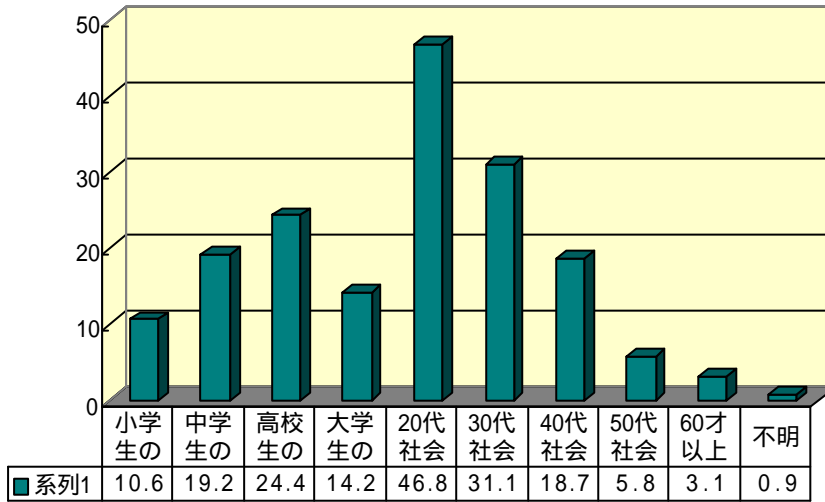
また、<近畿圏>での受講経験回数が<首都圏>及び<その他>に比べて若干低い。



# 20～30代の受講経験率が高い

『利用時期』として最も多いのは「20代社会人」で47%とほぼ半数が「20代」に受講した経験を持っている。次いで「学生時代」を除くと「30代」で31%。属性別に見ると、<20代>こそ「学生時代」の利用経験が最も多いが、<30代>以上では「社会人」になってからの利用経験率が最も高く、「社会人」以上が十分に市場として成立する事を示している。

通信教育利用時期



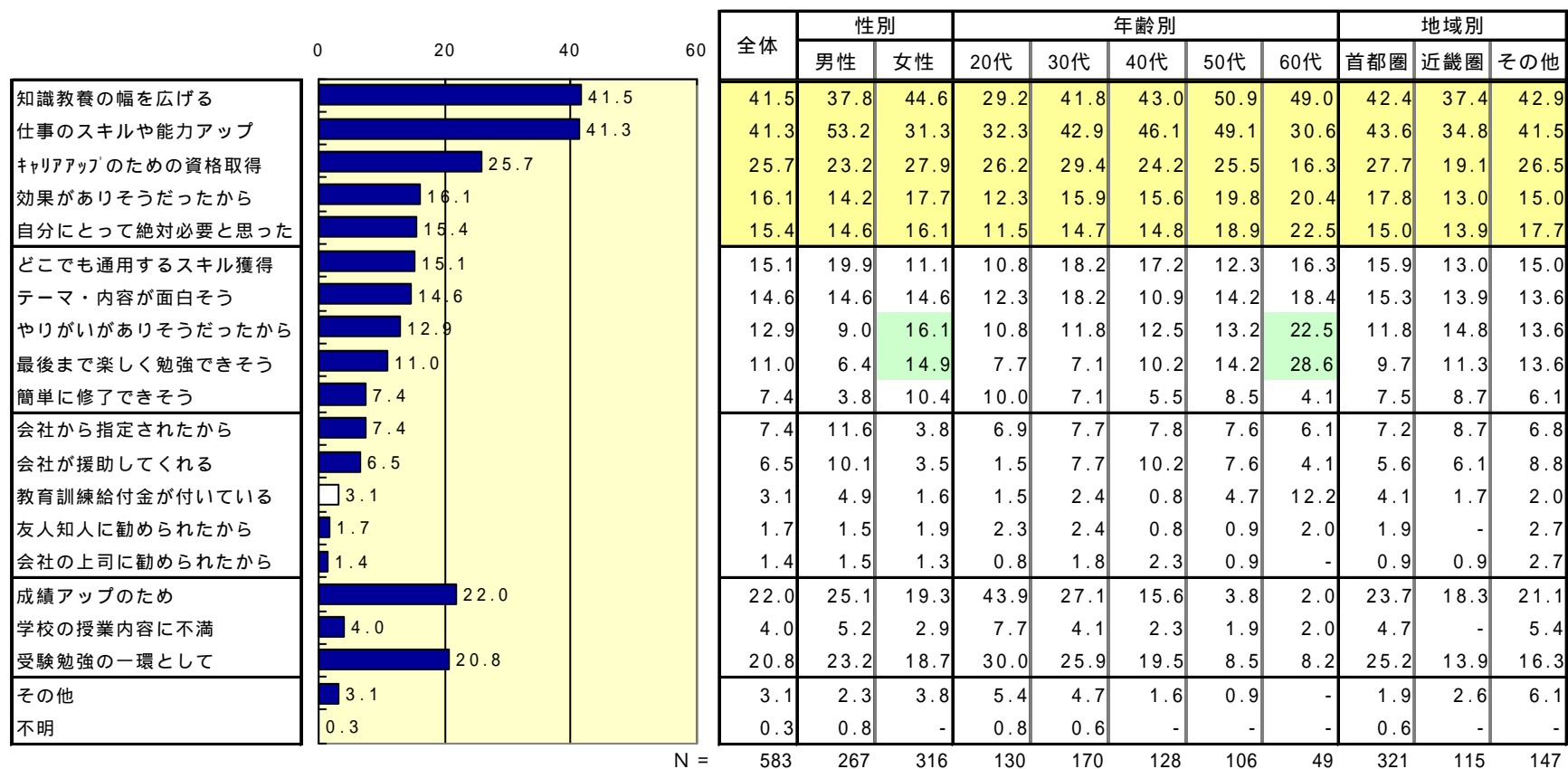
		N	学生の頃利用				社会人以上で利用					不明
			小学生	中学生	高校生	大学生	20代	30代	40代	50代	60才~	
全	体	583	10.6	19.2	24.4	14.2	46.8	31.1	18.7	5.8	3.1	0.9
性	男	267	10.1	19.5	28.1	15.0	43.1	31.8	19.9	5.2	4.1	1.5
	女	316	11.1	19.0	21.2	13.6	50.0	30.4	17.7	6.3	2.2	0.3
年	20代	130	25.4	28.5	43.9	27.7	43.9	-	-	-	-	0.8
	30代	170	14.1	32.9	24.1	16.5	60.6	31.2	-	-	-	0.6
	40代	128	3.9	12.5	25.8	8.6	48.4	55.5	25.8	-	-	2.3
	50代	106	-	0.9	7.6	4.7	39.6	40.6	53.8	17.0	-	-
	60代	49	-	4.1	6.1	6.1	18.4	28.6	38.8	32.7	36.7	-
地	首都圏	321	11.8	19.3	27.1	15.3	45.5	32.7	19.0	6.2	3.4	1.6
	近畿圏	115	9.6	13.9	18.3	11.3	49.6	22.6	21.7	4.4	4.4	-
	その他地域	147	8.8	23.1	23.1	14.3	47.6	34.0	15.7	6.1	1.4	-

		N	学生時代		社会人以後			
			~高校	大学生	20代	30代	40代	50代~
全	体	583	39.6	14.2	46.8	31.1	18.7	8.6
性	男	267	42.0	15.0	43.1	31.8	19.9	9.4
	女	316	37.7	13.6	50.0	30.4	17.7	7.9
年	20代	130	63.9	27.7	43.9	-	-	-
	30代	170	52.4	16.5	60.6	31.2	-	-
	40代	128	35.9	8.6	48.4	55.5	25.8	-
	50代	106	8.5	4.7	39.6	40.6	53.8	17.0
	60代	49	8.2	6.1	18.4	28.6	38.8	65.3
地	首都圏	321	42.4	15.3	45.5	32.7	19.0	9.0
	近畿圏	115	33.0	11.3	49.6	22.6	21.7	8.7
	その他地域	147	38.8	14.3	47.6	34.0	15.7	7.5

# 受講動機は知識教養の幅を広げる、仕事のスキルアップ

『通信教育の利用動機』として最も多いのは「知識教養の幅を広げる」（42%）と、「仕事のスキルや能力アップ」（41%）。次いで「キャリアアップのための資格取得」（26%）となっている。

ただし、属性別に見ると若干傾向が異なっており、＜男性＞では「仕事のスキルや能力のアップ」がトップだが、＜女性＞では「知識教養の幅を広げる」がトップ。《年齢別》では＜30代＞から＜50代＞の働き盛りでは「仕事のスキルアップ」、高年層になるほど「知識教養の幅を広げる」となっている。特に＜60代＞では、「楽しく続けられる」ことが大きな動機となっている他、他にも「やりがい」「必要」「効果」と言った点も重要なポイントとなっており、通信教育受講が「会社後」のライフスタイルの中で「目的化」されているとも言える。





# 通信教育の受講の動機は？

講座の科目別に『受講の動機』を確認した。ここでは、比較的受講者数の多かった上位講座について見てみる。（それ以下はN数＝受講経験者が少ないので数値の読みとりには注意を要す。）また、複数回答なので必ずしもその講座の受講目的（動機）を示しているとは限らないが、少なくとも各講座でトップの目的（動機）は関与度が強いと考えられるため、参考までに掲出した。

最も多かった「資格関係の講座」の場合、「仕事のスキルや能力アップのため」がトップで57%。他には、「キャリアアップのための資格獲得」45%）「どこの会社でも通用するスキル獲得」（26%）という意識も見られる。

「趣味・お稽古の講座」の場合は「知識教養の幅を広げる」（59%）という目的の他に、「効果」「テーマ・内容の面白さ」「最後まで楽しくできそう」（各27～29%）が挙げられている。

「仕事の実務に関わる講座」の場合は、「仕事のスキルや能力アップのため」が81%圧倒的で、極めて実質的な目的（動機）が示されている。

「語学関係の講座」に関しても、「知識教養の幅を広げる」（57%）のが目的となっている一方、近年の外資系企業進出を背景に「仕事のスキルや能力アップのため」や「キャリアアップのための資格取得」等が上位に来ている。

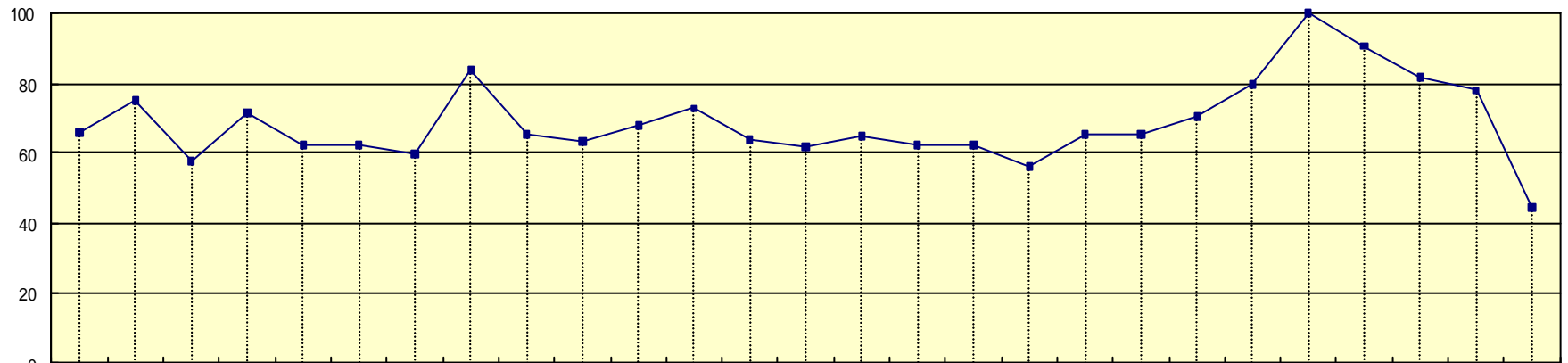
以上、上位講座の受講動機は、いずれにしても「今後の仕事に役立てるために」という目的が中心となっており、概ね願けるものであるが、やはり「趣味・お稽古」の場合は、受講自体が目的の一部となっている様子が窺える。

受講科目（講座）別の受講の動機（理由）

	N	知識教養の幅を広げる	仕事のスキルや能力アップのため	キャリアアップのための資格獲得	効果があらう	自分にとつて絶対から	ど通用するスキル獲得	テーマ面白さが	やりだいたがあらう	最後まで楽しめたか勉強強ら	簡単にとつてたきそう	会社からされたから	会社と援助のてくれ	教育訓練の金から	友人知人にれたから	会社の上れたから	その他	不明
全体	583	41.5	41.3	25.7	16.1	15.4	15.1	14.6	12.9	11.0	7.4	7.4	6.5	3.1	1.7	1.4	3.1	0.3
資格関係の講座	286	46.5	57.0	44.8	14.0	15.0	25.5	14.0	14.7	7.3	9.1	9.8	9.4	4.2	1.1	2.5	2.8	0.4
趣味・お稽古の講座	157	58.6	28.0	15.9	28.7	17.2	10.8	28.0	14.0	26.8	12.1	5.1	3.8	2.6	1.9	2.6	4.5	-
仕事の実務に関わる講座	132	52.3	81.1	39.4	13.6	18.2	25.8	13.6	10.6	6.8	7.6	22.7	20.5	5.3	0.8	4.6	2.3	-
語学関係の講座	110	57.3	51.8	27.3	20.9	15.5	20.9	18.2	19.1	14.6	7.3	9.1	9.1	5.5	3.6	2.7	0.9	-
教養関係の講座	89	65.2	38.2	28.1	27.0	27.0	16.9	20.2	18.0	10.1	7.9	13.5	7.9	1.1	2.3	2.3	1.1	-
PC・OA関係の講座	32	50.0	78.1	34.4	12.5	9.4	31.3	25.0	9.4	15.6	9.4	6.3	15.6	6.3	-	-	3.1	-
マネジメント関係の講座	29	62.1	93.1	44.8	27.6	10.3	37.9	31.0	10.3	6.9	3.5	44.8	34.5	17.2	3.5	6.9	3.5	-
コミュニケーション関係の講座	11	63.6	81.8	27.3	27.3	36.4	27.3	27.3	9.1	18.2	9.1	36.4	27.3	27.3	9.1	9.1	-	-
健康関係の講座	8	75.0	50.0	50.0	37.5	37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	-	-
スポーツ関連の講座	8	50.0	75.0	50.0	37.5	25.0	37.5	50.0	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	-	12.5	12.5	-	-
その他	12	33.3	50.0	8.3	8.3	58.3	8.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	8.3	-
不明	7	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	-	14.3	14.3	28.6	28.6	28.6	-	-	-	-	14.3

# 通信教育の通信教育の修了率は 66%。

受講した講座の『修了状況』を尋ねた結果が以下のグラフと表である。グラフは「修了率」を折れ線で示した。受講者<全体>での「修了率」は66%でほぼ3人に2人までが修了している。属性別に見ると、<女性>よりは<男性>で、《年齢別》では<20代>と<60代>が高く、特に<60代>での修了率は8割以上となっている。また、《受講目的(動機)別》で見ると、「会社の上司の薦め」「会社からの指定」「会社からの援助」といった「会社」がらみの受講に関しては修了率が高く、また、「友人知人の勧め」といったケースも高い修了率となっている。その他では「教育訓練給付金付き」も上位であった。逆に、低いのは「効果がありそう」「自分に必要」「テーマが面白そう」等、当面差し迫った必要性が低いと思われる「主体的動機」の場合となっている。



	全 体	男 性	女 性	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	首 都 圏	近 畿 圏	そ の 他 地 域	仕 事 の 力 ア ス キ ル の た め	ど こ の 会 社 で も 通 得 用	キ ャ タ リ ア の ア 資 格 取 得	知 識 広 げ る 幅 を	テ マ ・ 内 容 が	自 分 に 要 と 思 つ て 絶 対 か ら	効 果 だ た り か ら う	簡 単 だ と 思 つ た か ら う	や り だ た が あ ら う	最 後 ま ま で う れ た か ら う	友 人 薦 め ら れ た か ら	会 社 薦 め の 上 司 に か ら	会 社 指 定 さ れ た か ら	会 社 が 援 助 し て く れ	教 育 訓 練 給 付 金 が ら	そ の 他
N =	583	267	316	130	170	128	106	49	321	115	147	241	88	150	242	85	90	94	43	75	64	10	8	43	38	18	18
修了した	65.7	74.9	57.9	71.5	62.4	62.5	59.4	83.7	65.4	63.5	68.0	72.6	63.6	62.0	64.9	62.4	62.2	56.4	65.1	65.3	70.3	80.0	100.0	90.7	81.6	77.8	44.4
修了できなかった	32.8	23.2	40.8	27.7	36.5	33.6	39.6	16.3	33.0	34.8	30.6	26.6	33.0	35.3	33.9	36.5	37.8	42.6	32.6	32.0	28.1	20.0	-	7.0	15.8	22.2	55.6
不明	1.5	1.9	1.3	0.8	1.2	3.9	0.9	-	1.6	1.7	1.4	0.8	3.4	2.7	1.2	1.2	-	1.1	2.3	2.7	1.6	-	-	2.3	2.6	-	-
		性別		年齢別				地域別			受講の動機(理由)別																

# 修了できなかった理由は？

『修了できなかった理由』として最も多かったのは、「途中で飽きた／根気が続かなかった」（25人）で、以下、  
 「仕事が忙しくなった」（22人）  
 「難しすぎた／レベルが高すぎた」（20人）  
 「時間がなくなった」（19人）  
 「挫折した」（18人）  
 「面倒になった」（14人）  
 と、続く。

属性別に見ると、  
 「仕事が忙しくなった」  
 「時間がなくなった」  
 「面倒になった」  
 との理由を挙げたものは比較的＜男性＞に多く、「途中で飽きた／根気が続かなかった」  
 「難しすぎた／レベルが高すぎた」  
 「挫折した」  
 等を挙げるものは、＜女性＞で多く見られた。

（各N数に対する構成比をベースに判定）

修了できなかった理由

	全体	男性					女性						
		計	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	計	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代
1. 途中で飽きた／根気が続かなかった	25	6	1	2	1	1	1	19	3	10	2	3	1
2. 仕事が忙しくなった	22	8	1	3	-	3	1	14	1	6	5	1	1
3. 難しすぎた／レベルが高すぎた	20	4	2	-	-	2	-	16	5	5	2	4	-
4. 時間がなくなった	19	8	2	2	2	2	-	11	-	5	4	1	1
5. 挫折した	18	4	1	3	-	-	-	14	4	3	3	4	-
6. 面倒になった	14	7	3	2	-	2	-	7	1	1	1	3	1
7. 未だ受講中	11	3	-	2	-	1	-	8	3	1	4	-	-
8. 子育てとの両立ができなかった	11	-	-	-	-	-	-	11	1	3	3	4	-
9. 課題がたまっていて嫌になった	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-	7	3	-
10. 意志が弱かった	8	1	-	-	-	-	1	7	1	2	2	2	-
11. 効果が上がらなかった	7	3	1	1	-	1	-	4	-	-	1	3	-
12. 興味がなくなった／面白くなかった	6	2	2	-	-	-	-	4	-	1	1	1	1
13. 期間が短すぎた／期限切れ	5	-	-	-	-	-	-	5	1	3	-	1	-
14. 独りで勉強ができなかった	4	2	-	1	1	-	-	2	2	-	-	-	-
15. 妊娠中で集中できなかった	4	-	-	-	-	-	-	4	1	3	-	-	-
16. うまく自分の時間を管理できなかった	3	1	-	-	1	-	-	2	1	1	-	-	-
17. 病気のため／体調を壊した	4	-	-	-	-	-	-	4	1	-	2	1	-
18. 添削戻りが遅くて忘れる	2	1	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
19. 勉強しなかった	2	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
20. 途中で進路を変えたから	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-
21. 提出物を出しに行けなかった	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-
22. プログラムの期間が長すぎた	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23. 通信教育はそんなもの	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24. 自分には向いてなかった	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 諦めた	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
26. 刺激が少なかった	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
27. スクーリングのための年休が取れない	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
28. 最初の話と違った	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
29. 会社の指定だったのでやる気がでない	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
30. おまけ目当てで申し込んだから	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
31. 家に病人ができた	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
32. 指導に納得できなかった	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
特になし／無回答	8	4	1	-	2	1	-	4	-	-	2	2	-

N = 191 62 17 20 8 14 3 129 19 42 35 28 5

# 通信教育への興味関心度は7割以上、若年&経験者で高い

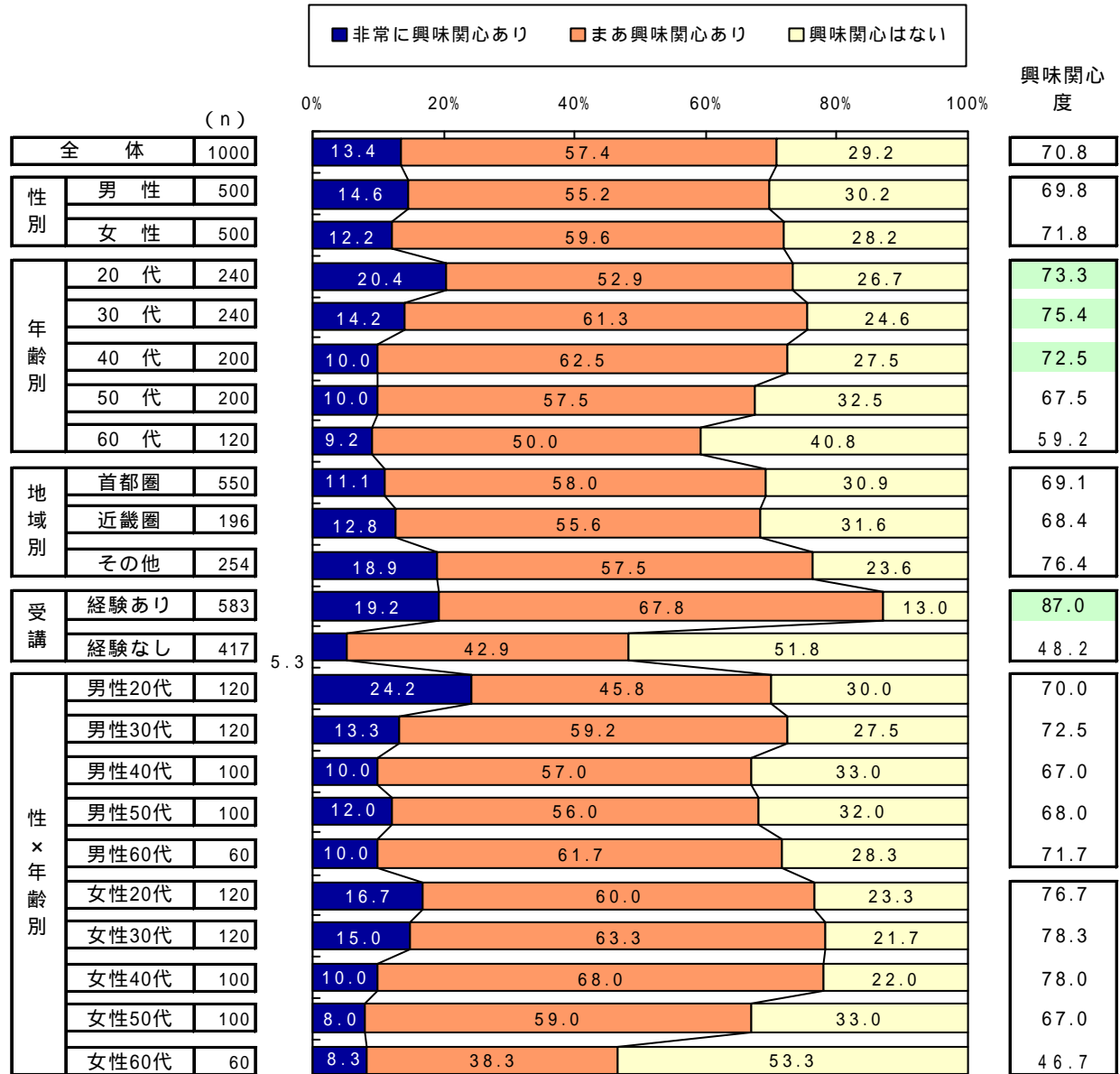
## 通信教育への興味・関心度

全員に、通信教育にどの程度『興味関心』を持っているかを問うた結果が右のグラフである。

「非常に興味関心がある」と回答したものは、<全体>の13%にとどまるが、「まあ興味関心がある」は57%と半数を上回り、併せた「興味関心度」は7割を上回った。

属性別に見ると、《性別》ではほとんど差はないが、《年齢別》ではどちらかと言えば<若年層>で興味関心度が高く、<60代>で低い。とりわけ、<女性60代>で47%と低く、これが<60代>のスコアを下げている。

また、《受講経験別》で見ると、<経験者>では87%と9割近い興味関心度が見られるのに対し、<未経験者>では48%と5割に満たない。



# 「好きなときに」「気軽に」できる学習法。でも「続けにくい」。

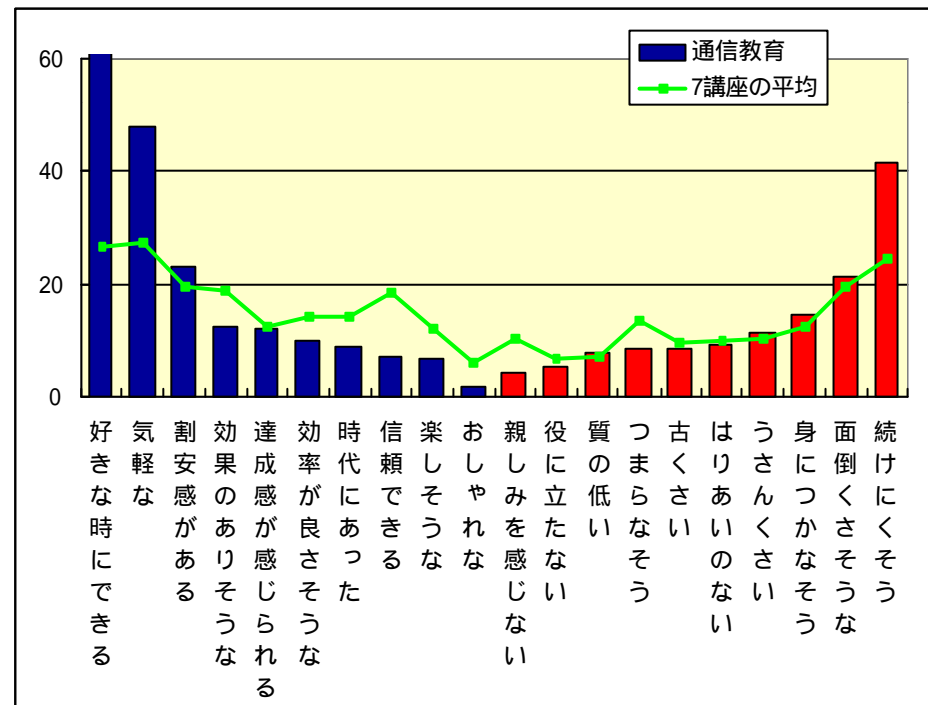
「通信教育」のイメージをプラスイメージ・マイナスイメージに分けて、プラスの良好なイメージから、マイナスの強いイメージまで並べたものが以下のグラフと表である。尚、参考までに全学習方法のイメージの平均値を折れ線グラフで示した。

「通信教育」は「好きなときにできる」（61%）「気軽な」（48%）勉強方法であるとのイメージが強く、提示した7講座の平均を大きく上回っているが、「効果のありそうな」「信頼できる」等の点では平均を大きく下回っている。

一方、マイナスイメージのワードについてみると、なにより「続けにくそう」（42%）のイメージが非常に強く、平均の2倍以上のスコアとなっている。

通信教育のイメージ

	通信教育	7講座の平均
好きな時にできる	61.0	26.6
気軽な	48.0	27.3
割安感がある	23.0	19.5
効果のありそうな	12.5	18.9
達成感が感じられる	12.1	12.4
効率が良さそうな	10.1	14.1
時代に合った	8.7	14.0
信頼できる	7.2	18.6
楽しそうな	6.7	12.2
おしゃれな	1.6	6.0
親しみを感じない	4.4	10.5
役に立たない	5.4	6.6
質の低い	7.7	7.2
つまらなそう	8.5	13.4
古くさい	8.6	9.5
はりあいのない	9.1	9.9
うさんくさい	11.4	10.2
身につかなそう	14.7	12.5
面倒くさそう	21.2	19.6
続けにくそう	41.6	24.3



# 受講経験者は「好きなときに」「気軽に」を体験している。

《受講経験別》に見たのが以下のグラフと表である。

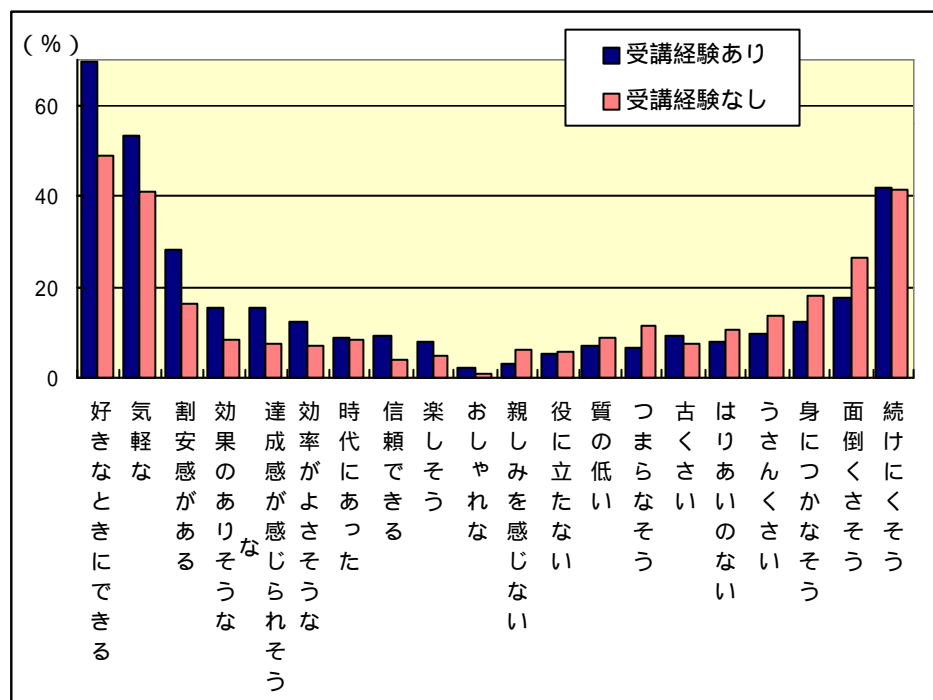
これを見ると「通信教育」の＜受講経験者＞層ほど、「好きな時にできる」「気軽な」「割安感のある」等のイメージスコアが高くなっており、実際に経験してみれば、「通信教育の」「使い勝手」は良いと感じることを示している。しかし、その上でもマイナスイメージは解消されていない（依然として未経験層と同等のマイナスイメージが見られる）点は気になるところである。

これは、実際に「時」を選ばずに行える学習ではあるが、それ故にまた、「自己管理が難しい」ことをも身を以て理解した結果と考えられ、この点は主催者・受講者双方で、なにがしかの工夫が必要となることを示していると言える。

受講経験別の通信教育のイメージ

	全 体	受講経験 あり	受講経験 なし
好きなときにできる	61.0	69.6	48.9
気軽な	48.0	53.2	40.8
割安感がある	23.0	28.0	16.1
効果のありそうな	12.5	15.6	8.2
達成感が感じられそうな	12.1	15.4	7.4
効率がよさそうな	10.1	12.4	7.0
時代に合った	8.7	8.9	8.4
信頼できる	7.2	9.4	4.1
楽しそう	6.7	7.9	5.0
おしゃれな	1.6	2.1	1.0
親しみを感じない	4.4	3.1	6.2
役に立たない	5.4	5.3	5.5
質の低い	7.7	7.0	8.6
つまらなそう	8.5	6.5	11.3
古くさい	8.6	9.3	7.7
はりあいのない	9.1	8.1	10.6
うさんくさい	11.4	9.8	13.7
身につかなそう	14.7	12.4	18.0
面倒くさそう	21.2	17.5	26.4
続けにくそう	41.6	41.7	41.5

N = 1000 583 417



# いろいろな学習方法のイメージは？

「通信教育」のイメージと比較しながら、各学習方法のイメージを見てみる。

【大学・官公庁が実施する公開セミナー】：「信頼できる」「効果がありそうな」イメージがあり、「楽しそうな」という点でも【通信教育】を上回っているが、当然、「好きなときに」「気軽に」学べるイメージは低い。

【民間の企業が実施する「\_\_\_\_\_教室」】：【公開セミナー】ほどではないが「効果のありそうな」「信頼できる」イメージで、「楽しそうな」という点では【公開セミナー】を上回る。ただし、「うさんくさい」イメージは最も強い。

【会社の研修】：「効果のありそうな」「信頼できる」イメージではあるが、「つまらなそう」「面倒くさそう」「親しみを感じない」といったマイナスイメージも強い。

【テレビラジオの通信講座】：全体的に【通信教育】と同様のイメージとなっているが、放映時間が決まっているだけに、「好きな時に」できるイメージは【通信教育】を下回った。

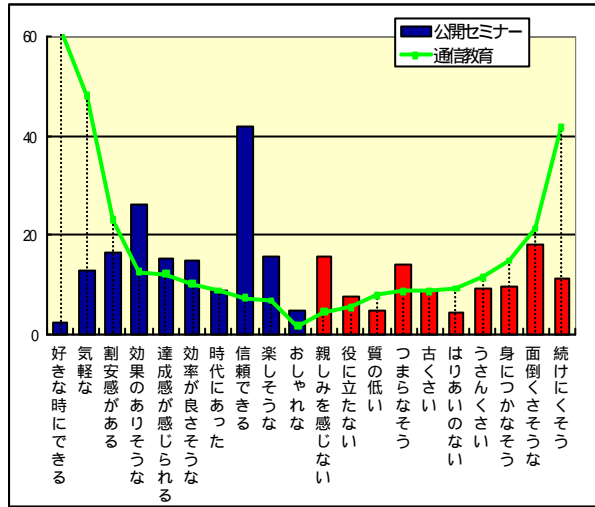
【インターネットの有料の学習プログラム】：最近のツールだけに「時代にあった」イメージは飛び抜けて高く、「おしゃれな」「楽しそうな」イメージも良好である。【通信教育】に比べて「好きなときに」「気軽に」できるイメージは低いが、「面倒くさい」「続けにくい」といった阻害イメージも低くなっている。（ただし、インターネット調査による結果であり、実態数字は半分程度にみるのが妥当）

【書籍などでの独習】：「好きなときに」「気軽に」「割安感」は【通信教育】と同等だが、「はりあいのない」方法であることは否めず、【通信教育】以上に「続けにくい」とされたのみならず、「身に付かない」イメージも見られる。

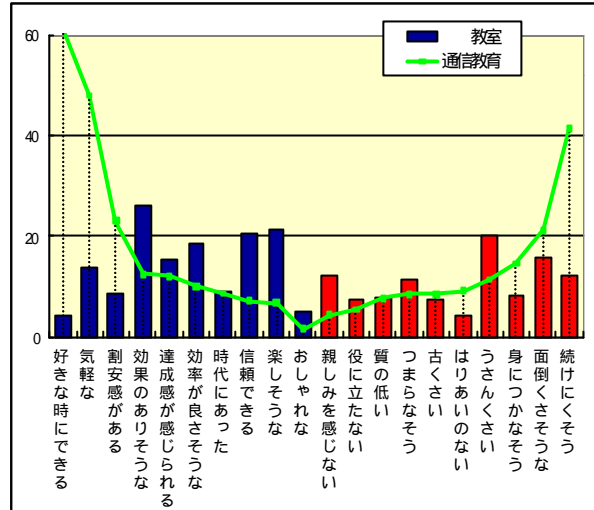
		通信教育	公開セミナー	教室	会社の研修	TV・RDの 通信講座	インターネットの 有料講座	書籍による 独習	7講座の平均
プラス イメ ージ	好きな時にできる	61.0	2.2	4.3	1.4	24.4	35.0	57.7	26.6
	気軽な	48.0	12.7	13.9	4.8	44.3	25.6	42.1	27.3
	割安感がある	23.0	16.2	8.5	18.0	28.0	9.7	33.2	19.5
	効果のありそうな	12.5	26.0	26.2	29.9	10.4	15.9	11.2	18.9
	達成感が感じられそうな	12.1	15.2	15.3	16.2	8.8	6.5	12.5	12.4
	効率が良さそうな	10.1	14.6	18.6	20.7	10.2	17.5	7.2	14.1
	時代にあった	8.7	8.6	9.1	4.6	9.5	54.4	3.3	14.0
	信頼できる	7.2	42.0	20.7	28.4	15.1	6.2	10.5	18.6
	楽しそうな	6.7	15.7	21.5	2.6	13.4	20.6	5.0	12.2
	おしゃれな	1.6	4.5	5.1	1.3	3.2	23.9	2.1	6.0
マイ ナ ス イ メ ージ	親しみを感じない	4.4	15.6	12.1	21.0	6.7	8.2	5.2	10.5
	役に立たない	5.4	7.3	7.3	10.2	5.9	3.8	6.6	6.6
	質の低い	7.7	4.8	7.9	8.6	7.0	4.5	9.6	7.2
	つまらなそう	8.5	14.1	11.2	30.6	9.2	5.0	15.1	13.4
	古くさい	8.6	8.8	7.3	17.9	12.3	0.5	11.1	9.5
	はりあいのない	9.1	4.4	4.2	10.7	10.1	6.5	24.3	9.9
	うさんくさい	11.4	9.2	20.0	7.0	6.3	14.4	3.0	10.2
	身に付かなそう	14.7	9.5	8.1	11.2	14.2	8.5	21.6	12.5
	面倒くさそうな	21.2	18.1	15.7	29.8	17.8	12.9	21.4	19.6
	続けにくそう	41.6	11.3	12.2	7.7	33.8	19.8	43.9	24.3
プラスイメージの平均		19.1	15.8	14.3	12.8	16.7	21.5	18.5	17.0
マイナスイメージの平均		13.3	10.3	10.6	15.5	12.3	8.4	16.2	12.4

# 学習方法のイメージをグラフ化すると・・・

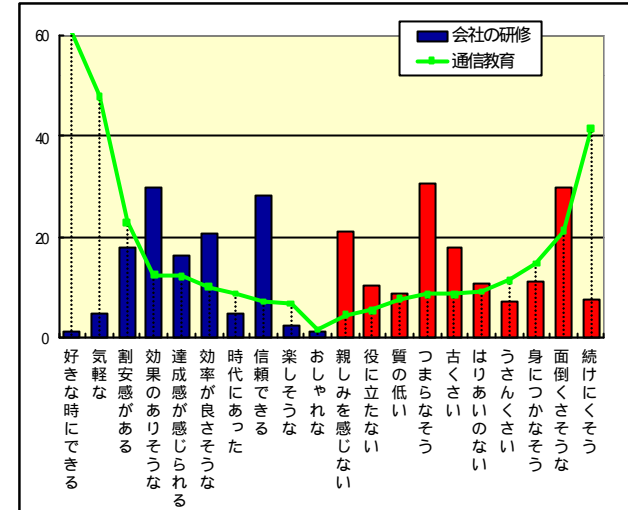
大学・官公庁が実施する公開セミナー



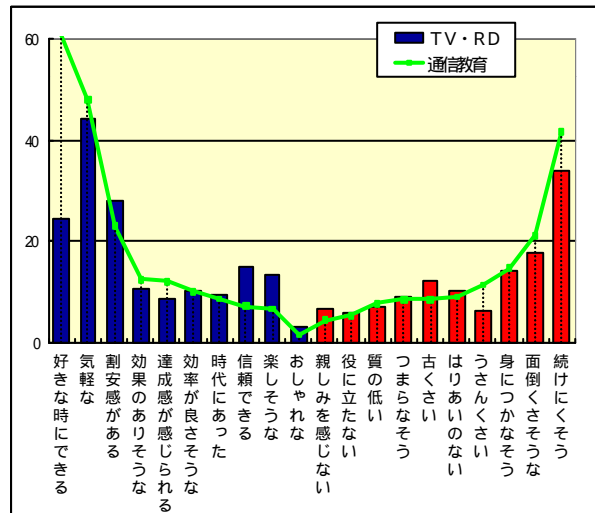
民間企業が実施する「教室」



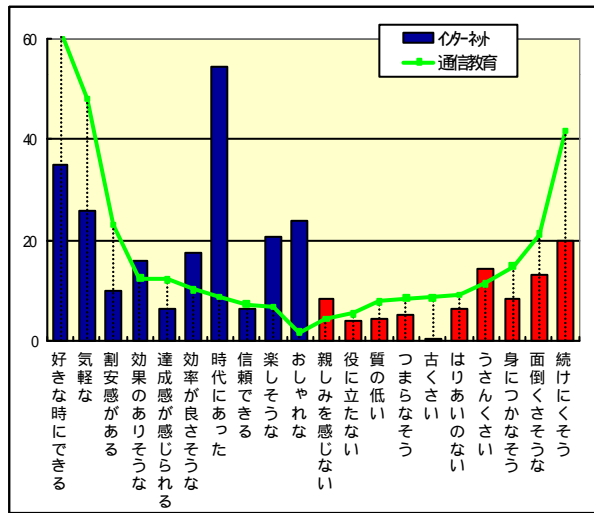
会社の研修



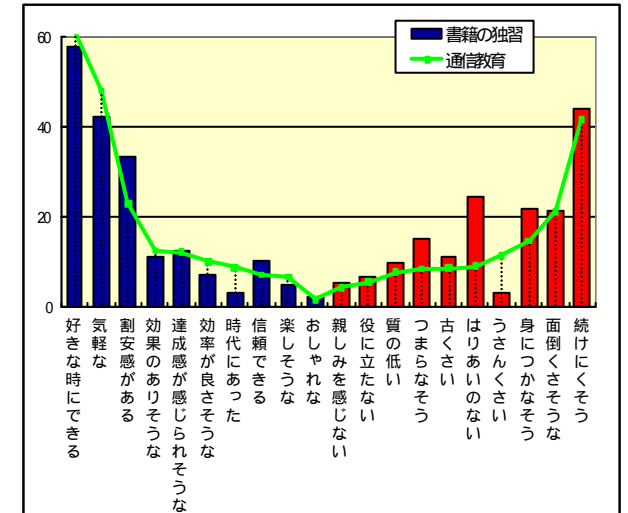
TV・ラジオの通信講座



インターネットの有料の学習プログラム



書籍などの独習



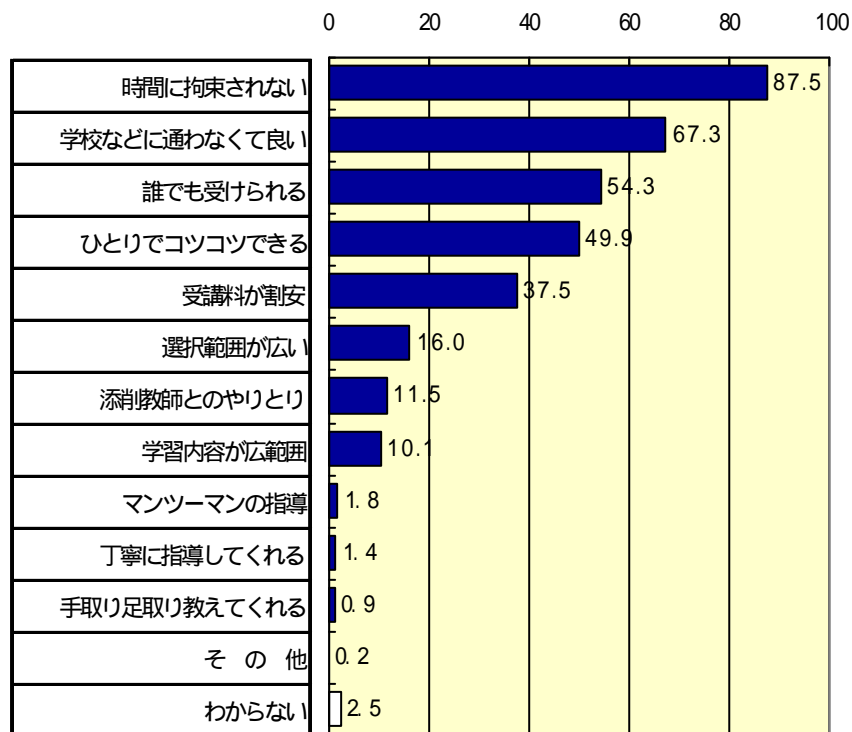


# 「時間に拘束されない」自由さが長所であり短所。

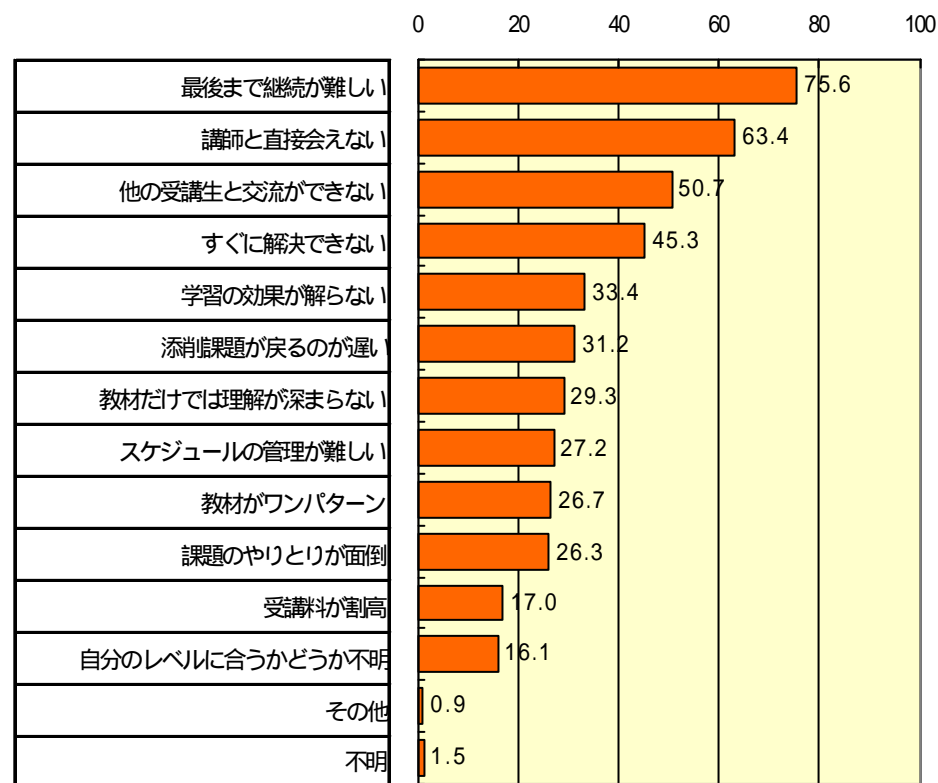
【通信教育】の長所（メリット）としては、「時間に拘束されない」が88%と最も多く、次いで「学校などに通わなくて良い」（68%）「誰でも受けられる」（55%）と続く。逆に、短所（デメリット）としては「最後まで継続が難しい」が76%でトップ、以下「講師と直接会えない」（63%）「他の受講生と交流ができない」（51%）となっている。

結局のところ、「自分が独りで自主的に学ぶ」システムであるが故に、「時間的・空間的」自由さが最大のメリットではあるが、同時に“独りで学ぶ”ために、スクール形式の方法に見られるような受講生どうしの“交流”による刺激や問題解決のスピード（講師とのコミュニケーションを含む）を犠牲にせざるを得ない点が「デメリット」として意識されている。

通信教育のメリット



通信教育のデメリット



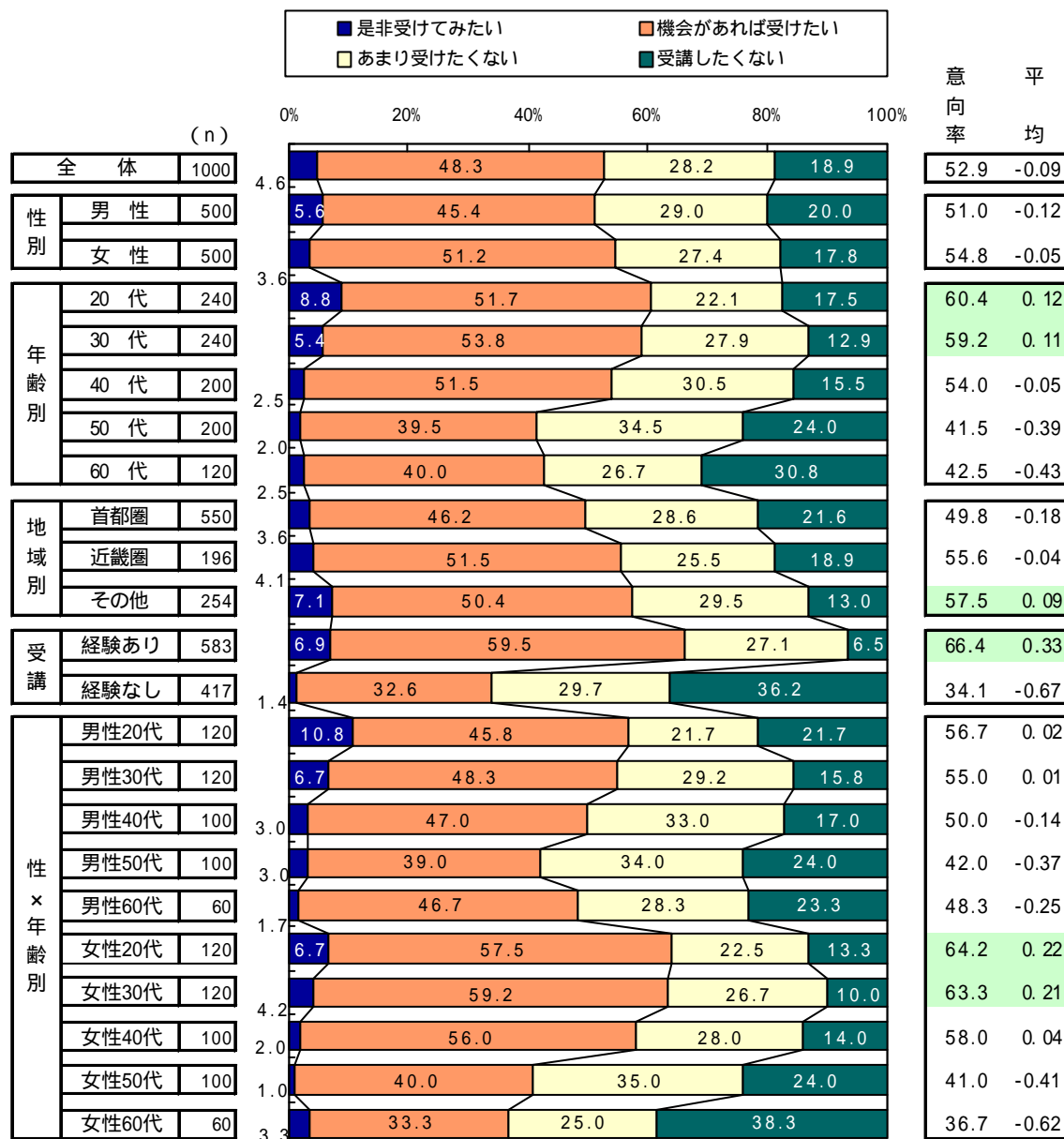
# 通信教育の受講意向率は53%。経験者がリピート。

【通信教育】の今後の受講意向を問うた結果が右のグラフである。

回答者<全体>で見ると、「受講意向率」は53%で半数を上回った。

属性別に見ると、《性別》では大きな差はないが、《年齢別》ではどちらかと言えば<若年>層で高い意向が示されてる。特に<女性>の<20代><30代>では6割を超えた。

また、《受講経験別》では、<経験者>の意向率が圧倒的に高く、<未経験者>のほぼ2倍近い数値を示している。



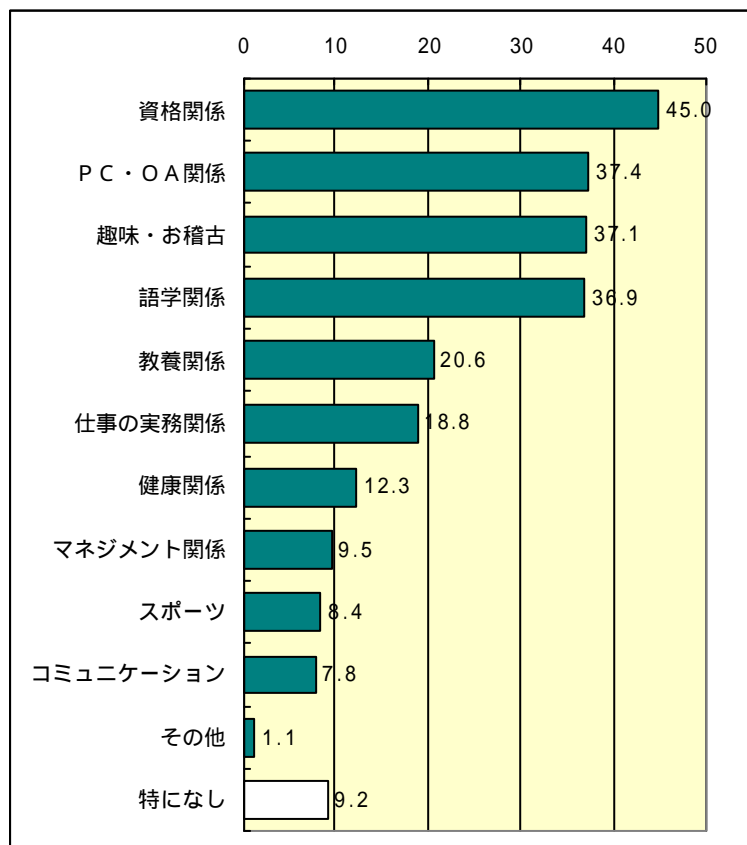
# 今後学びたいと思っていることは？

【通信教育】に限らず今後学びたいと思っていることを挙げさせた結果が以下のグラフと表である。

トップは「資格関係」で45%、以下「PC・OA関係」(37%)「趣味・お稽古」(37%)「語学関係」(37%)となっており、大勢は【通信教育】で学びたいことと同様の科目(講座)が上位に挙げられている。

属性別の傾向も、「趣味・お稽古」が<女性>、「マネジメント関係」が<男性>とほぼ同様の傾向である。

ただし、数値的にはトップの「資格関係」は、【通信教育】の場合は64%あったが、ここでは45%となっており、どちらかといえば「資格は通信教育で」という判断がなされている可能性もある。



		N	資格関係	PC・OA関係	趣味・お稽古	語学関係	教養関係	仕事の実務関係	健康関係	マネジメント関係	スポーツ	コミュニケーション	その他	特になし
全体		1000	45.0	37.4	37.1	36.9	20.6	18.8	12.3	9.5	8.4	7.8	1.1	9.2
性別	男性	500	47.4	36.8	25.4	36.2	19.2	22.0	11.6	14.6	9.4	7.8	1.6	10.4
	女性	500	42.6	38.0	48.8	37.6	22.0	15.6	13.0	4.4	7.4	7.8	0.6	8.0
年齢別	20代	240	62.1	39.6	37.5	40.8	17.1	23.8	5.4	8.3	12.9	11.7	1.3	2.5
	30代	240	52.1	38.8	37.9	43.3	16.3	23.8	7.5	10.8	10.0	4.2	0.4	6.7
	40代	200	49.0	41.0	33.0	40.0	20.0	21.5	10.5	11.0	7.0	7.0	2.5	7.5
	50代	200	31.0	34.0	36.0	29.5	26.0	12.5	19.0	9.5	4.5	7.5	1.0	16.0
	60代	120	13.3	30.0	43.3	23.3	28.3	5.0	27.5	6.7	5.0	9.2	-	19.2
地域	首都圏	550	43.5	37.1	34.7	39.6	20.2	18.9	14.4	11.6	9.3	8.0	1.1	7.6
	近畿圏	196	42.4	37.8	43.4	33.7	25.5	16.3	10.7	5.6	6.6	7.1	1.0	11.7
	その他	254	50.4	37.8	37.4	33.5	17.7	20.5	9.1	7.9	7.9	7.9	1.2	10.6
性×年齢別	男性20代	120	65.8	46.7	28.3	41.7	15.0	24.2	3.3	13.3	15.8	11.7	2.5	3.3
	男性30代	120	51.7	28.3	16.7	39.2	13.3	33.3	7.5	18.3	12.5	5.0	-	8.3
	男性40代	100	49.0	36.0	19.0	42.0	20.0	26.0	11.0	16.0	6.0	4.0	4.0	8.0
	男性50代	100	36.0	32.0	32.0	29.0	23.0	12.0	16.0	14.0	3.0	8.0	1.0	20.0
	男性60代	60	18.3	43.3	36.7	21.7	31.7	5.0	30.0	8.3	6.7	11.7	-	16.7
	女性20代	120	58.3	32.5	46.7	40.0	19.2	23.3	7.5	3.3	10.0	11.7	-	1.7
	女性30代	120	52.5	49.2	59.2	47.5	19.2	14.2	7.5	3.3	7.5	3.3	0.8	5.0
	女性40代	100	49.0	46.0	47.0	38.0	20.0	17.0	10.0	6.0	8.0	10.0	1.0	7.0
	女性50代	100	26.0	36.0	40.0	30.0	29.0	13.0	22.0	5.0	6.0	7.0	1.0	12.0
	女性60代	60	8.3	16.7	50.0	25.0	25.0	5.0	25.0	5.0	3.3	6.7	-	21.7

# 「教育訓練給付金」付き講座の「魅力度」は78%

「教育訓練給付金」付き講座の『魅力度』であるが、「非常に魅力を感じる」との回答が<全体>の31%、これに「まあ魅力を感じる」（46%）を併せた「魅力度」は78%と高い。

属性別に見ると、《性別》の差はないが、《年齢別》では、<20代>（83%）～<50代>（82%）までは大差ないが、<60代>では63%と他層に比べたら低くなっている。

		(n)
全 体		1000
性別	男 性	500
	女 性	500
年齢別	20 代	240
	30 代	240
	40 代	200
	50 代	200
	60 代	120
地域別	首都圏	550
	近畿圏	196
	その他	254
受講	経験あり	583
	経験なし	417
性×年齢別	男性20代	120
	男性30代	120
	男性40代	100
	男性50代	100
	男性60代	60
	女性20代	120
	女性30代	120
	女性40代	100
	女性50代	100
	女性60代	60

